

## 勤務環境改善

### 医療労務管理支援事業 ワークライフバランス実践研修「医療従事者の確保・定着につながるワークライフバランスの取組」

近年、医療従事者の確保・定着のためには、医療の専門職として着実にキャリア形成ができ、相互理解のもとで勤務できる働きやすい環境づくりが必要不可欠になってきております。その環境づくりの推進をはかるため、今年度、京都府医療勤務環境改善支援センター、京都労働局、公益社団法人京都府看護協会の共催により、ワークライフバランス実践研修「医療従事者の確保・定着につながるワークライフバランスの取組」をテーマに、京都市内・南部地域及び北部地域において研修会を開催しています。

今回、北部地域開催として、平成28年11月12日（土）、京都府立中丹勤労者福祉会館（福知山市）にて、53名の参加者を得て開催いたしました。

講演は、①基調講演、②北部地域3病院からの事例発表、③シンポジウムの3部構成にて行いました。

基調講演は、講師に中島美津子先生（東京医療保健大学東が丘・立川看護学部看護学科／大学院看護学研究科教授）をお招きし「「かち」残る組織づくりのための Social Capital（絆）



中島美津子氏

「WLBと勤務環境改善は定着促進そのもの」をテーマにご講演いただきました。事例発表では、綾部市立病院、京丹后市立弥栄病院、丹後中央病院の3病院の代表の方より、「ワークライフバランスの取組について」をテーマに、発表を行っていただきました。院内におけるワークライフバランス推進委員会の設置、院内保育所の設置、残業時間の削減、年次有給休暇取得率の向上、医師確保の取組等、様々な具体例が発表されました。次のシンポジウムでは、中島先生が座長となり、事例発表を行った3病院の代表の方々を交えて、「ワークライフバランスの取組」をテーマに意見交換を行いました。全体を通じて中島先生の講演、実際の事例等、医療従事者の確保・定着にお悩みの方々が大変元気づけられ、次の日から院内でもワークライフバランスに意欲的に取り組むことができる講演でした。



今回は京都市内・南部地域開催として平成29年2月25日（土）14時～17時からすま京都ホテルにて開催いたします。京都私立病院協会のホームページよりお申込みができますので、是非ご参加下さい。

（事務局）